

「Scope3削減に向けたサプライヤとの連携促進」

株式会社 F U J I
経営企画部 前嶋玲奈



1. 会社概要



従業員数

(2023年3月末時点)

2,848名



売上高

(2023年3月期)

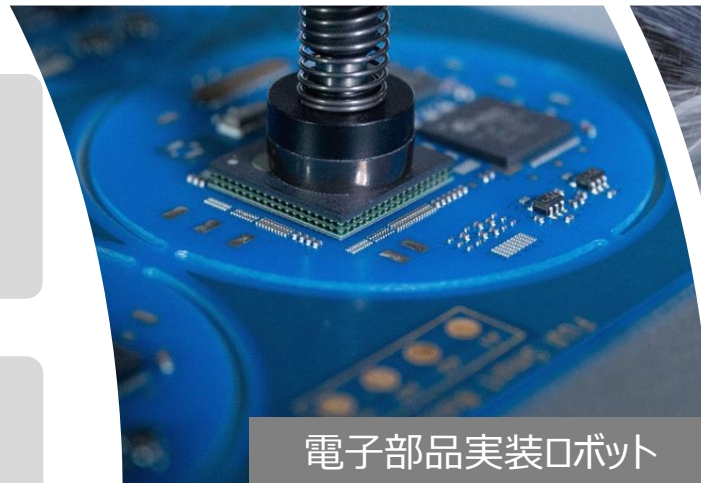
1,533億円



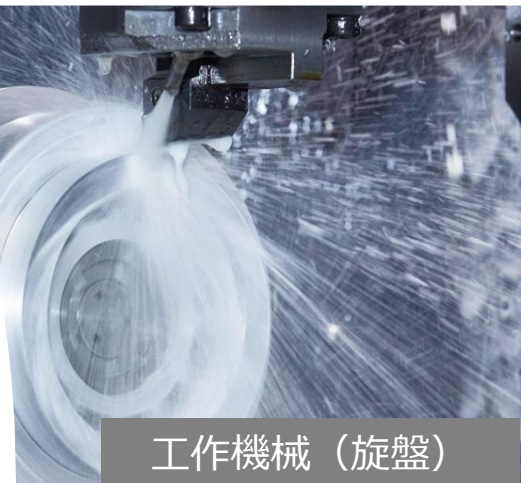
海外売上高比率

(2023年3月期)

90%



電子部品実装ロボット



工作機械（旋盤）



電子部品実装ロボット市場
世界トップクラスのシェア

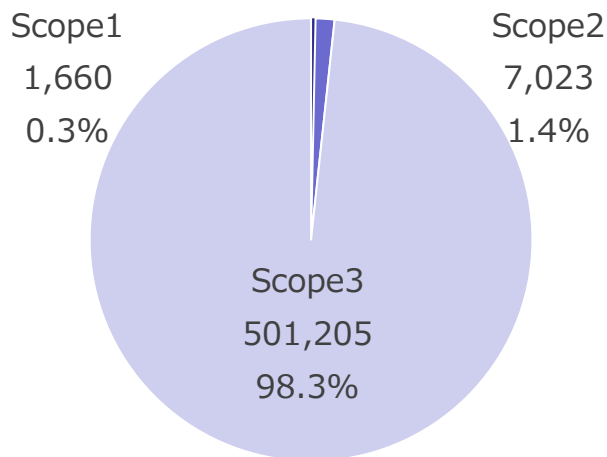


本社：愛知県知立市

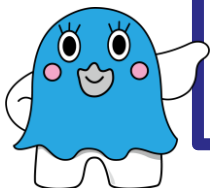
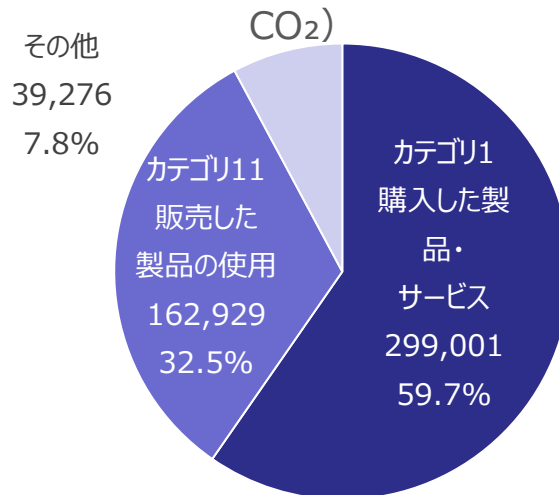
2. 応募動機

F U J I のCO₂ 排出量の現状

● Scope別CO₂排出量 (t-CO₂)



● Scope3 カテゴリ別CO₂排出量 (t-CO₂)



環境省「バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業」のゴール
正しい知識をもとに Scope3削減施策検討

3. 取組内容 ①意識醸成

サプライヤーの従業員全員を対象に
「なぜカーボンニュートラルに取り組む必要があるか？」
を理解してもらうために意識醸成が必要

課題

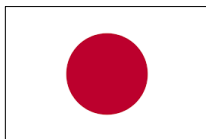
サプライヤー従業員は多国籍
環境問題に対する認識度もばらつきも大きい

3. 取組内容 ①意識醸成

「誰にでも判りやすい言葉」の話にすることが重要
全サプライヤーに直接お話に行きたいが時間がかかってしまう

約12分の動画を多言語で準備

日本語



中国語



3月予定

タイ語



4月予定

ベトナム語



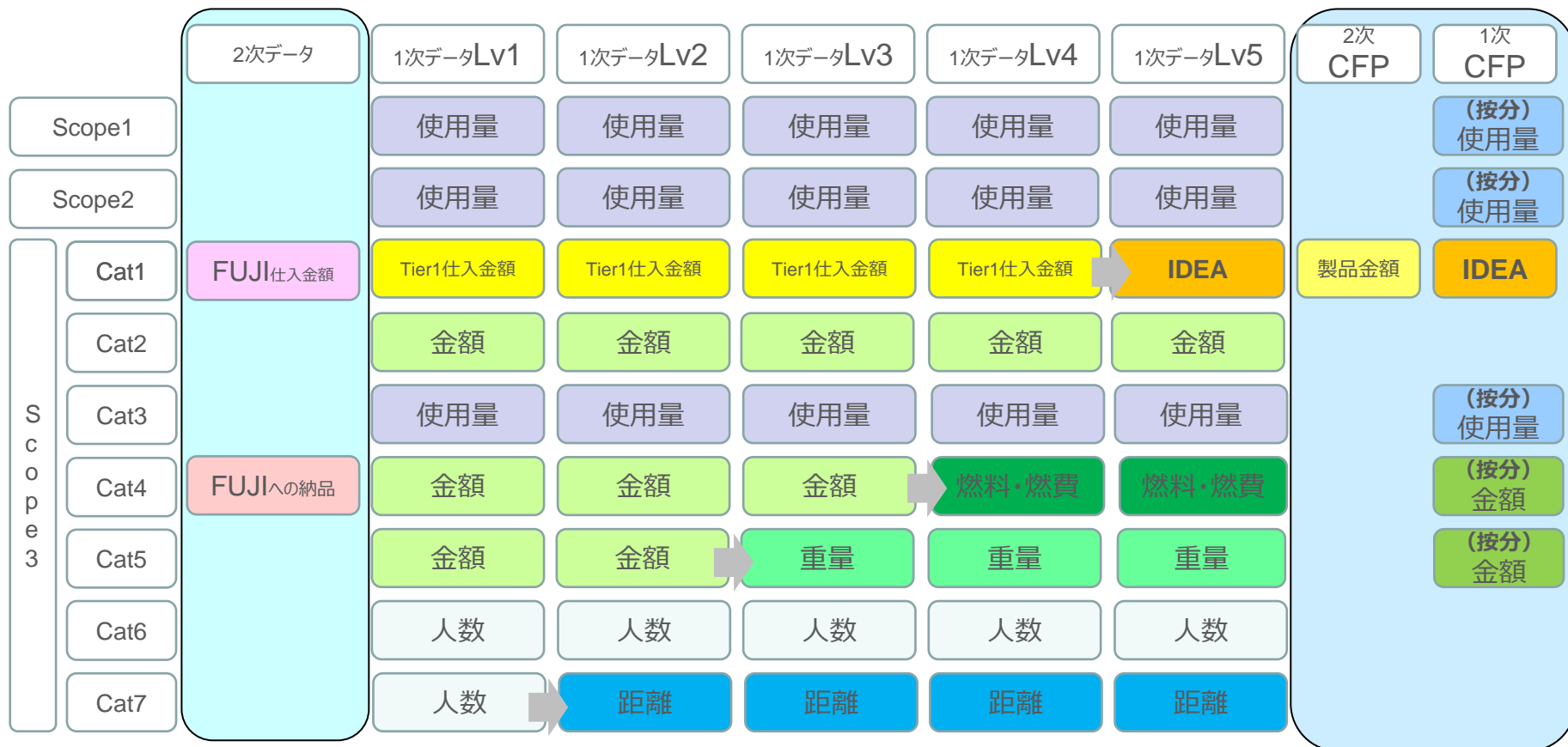
5月予定

英語



6月予定

3. 取組内容 ②算定ツールの確立



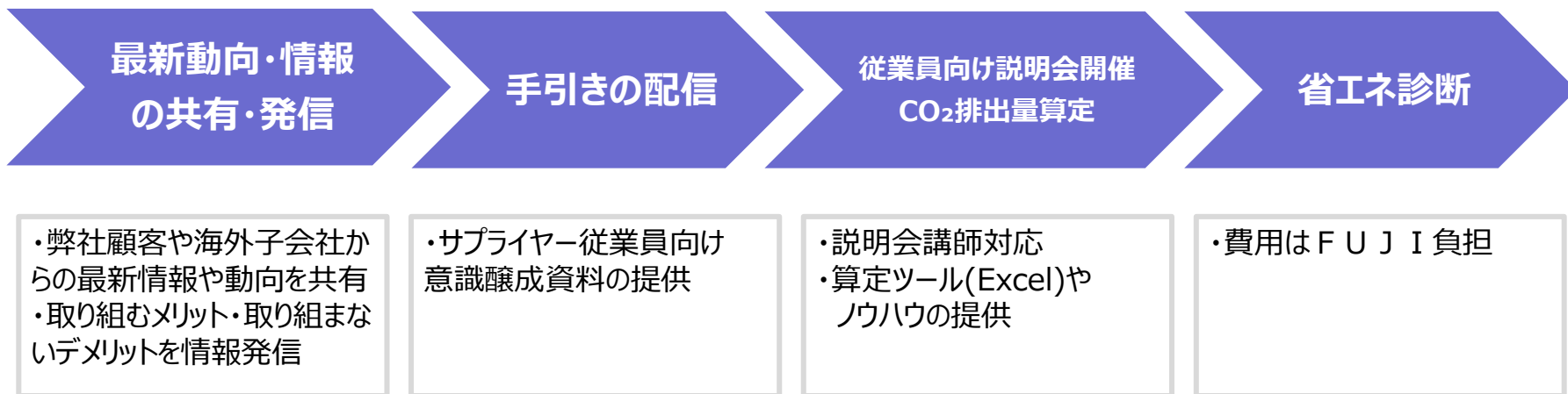
3. 取組内容 ③省エネ診断受診によるサプライヤー削減目標制定

省エネ診断受診費用をFUJIが負担するという支援ルールを制定 サプライヤー3社が削減目標制定

取引先	削減施策
 宍田塗装工業株式会社 <small>YASUDA PAINTING INDUSTRY CO.,LTD</small>	<p>短期 Scope3_カテゴリ1,5削減：不適合の50%削減 Scope3_カテゴリ1,5削減：代替治具の採用 Scope3_カテゴリ1削減：廃棄予定の資材の活用</p> <hr/> <p>中期 Scope2削減：空気配管のエアリーク点検・対策</p> <hr/> <p>長期 Scope2削減：太陽光発電の導入</p>
幸和産業株式会社	<p>短期 Scope2削減：空調周辺の整理整頓、サーバ室の設定温度の変更</p> <hr/> <p>中期 Scope2削減：室外機の日よけ設置</p> <hr/> <p>長期 Scope2削減：太陽光発電の導入</p>
 株式会社 東海機械製作所	<p>短期 Scope2削減：使用していない設備の電源を切る、 照度の高い場所の照明を消す Scope3_カテゴリ1削減：ペーパーレス化の推進 (紙の購入量削減) Scope3_カテゴリ5削減：不適合の削減 (廃棄物の削減)</p>

4. 今後のエンゲージメント方針

サプライヤーがF U J I の環境経営取組に参画するメリットを発信



目標設定・削減への取組開始

**PDCAサイクルを回し、
カーボンニュートラル先進企業創出へ**



4. 今後のエンゲージメント方針



人々の心豊かな 暮らしのために

地球環境ならびに人々の幸福に資する
商品・サービスをお届けします。

事業を成長させ、ステークホルダーの
皆さまへ適切に還元します。

法令遵守はもとより、それを超えた
道徳心の高い企業であり続けます。

